

「モノ認識」 x 「モバイル」 x 「自動化」 = AsReader

IoT × AsReader®  DX Digital Transformation

2025年8月期期末 決算説明会資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2025年10月15日



◆本資料には、当社の将来の見通しや計画に関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報や合理的と判断される仮定に基づいておりますが、将来の事象や経済環境の変化により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があります。

◆特に記載がない限り、本資料に記載された財務データは、日本の一般に認められた会計原則に基づいております。

◆当社は、今後の事業環境の変化等により将来の見通しを更新する必要が生じた場合でも、法令や開示規則で求められる場合を除き、本資料の内容を必ずしも修正・更新するものではありません。

第一部：経営環境と当社の動き

第二部：第19期（2025年8月期）業績報告

- （1）エグゼクティブサマリー
- （2）第19期（2025年8月期）連結業績
- （3）第19期（2025年8月期）単体業績
- （4）第20期（2026年8月期）業績予想
- （5）その他トピックス

第三部：その他企業情報

- （1）直近のリリース情報
- （2）直近の展示会出展予定



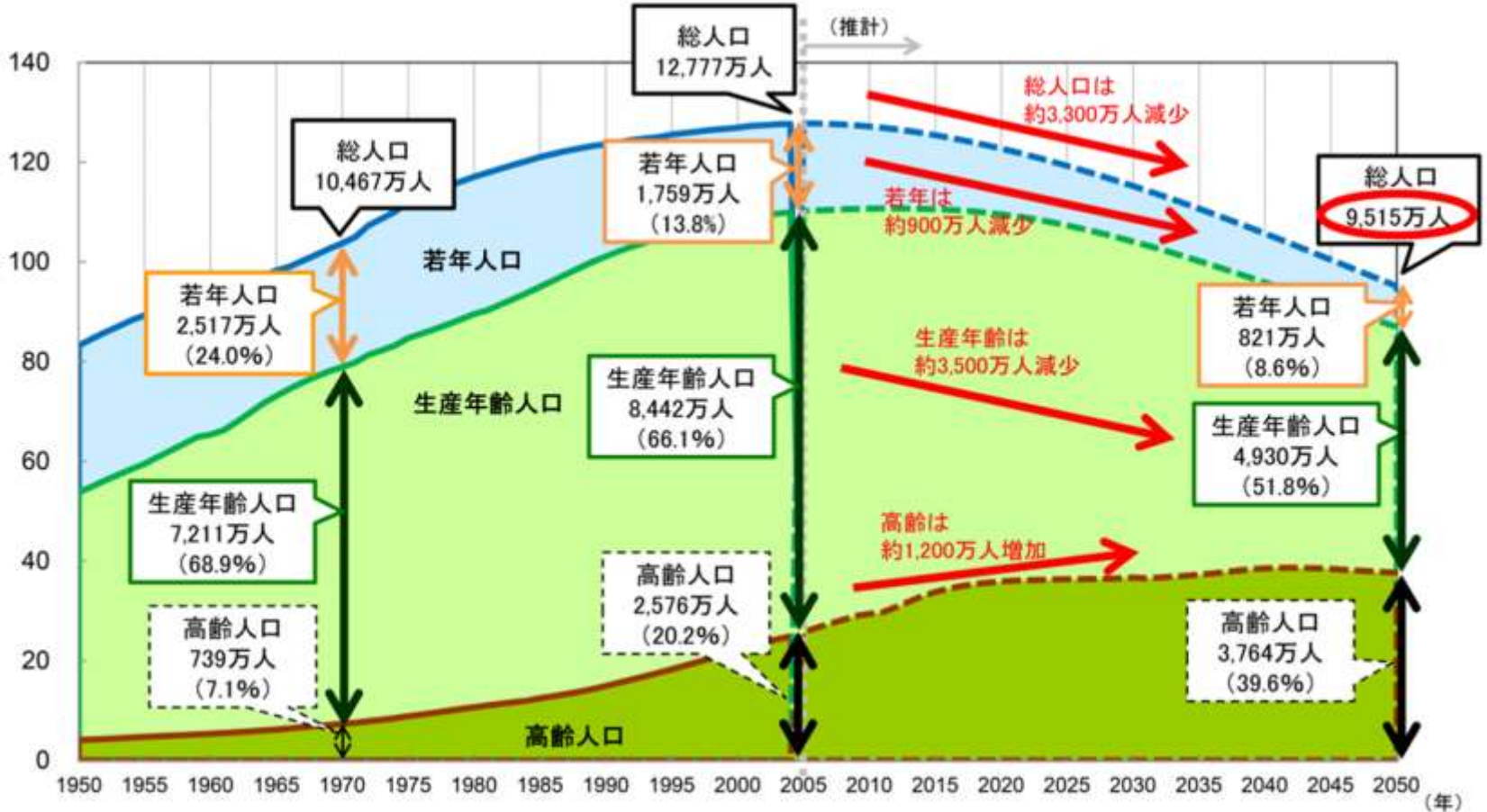
第一部：経営環境と当社の動き

ITを通じて、三方笑顔を創造し、 人類・社会の進歩発展に貢献します。

1. 自己の良心をもって、信頼と安心を築き、三方笑顔を創造します。
2. 早さを追求し、スピードあふれる行動をもって、三方笑顔を創造します。
3. 新しいIT技術、斬新なサービスをもって、三方笑顔を創造します。

人に変わる自動化に貢献して、 人類社会の進歩発展に貢献する

強みは「モノ認識」技術
そして、「モバイル」
キーワードは「自動化」



出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要（平成23年2月21日）国土審議会政策部会長期展望委員会

20期は、次の事業部に再編成して事業拡大を目指します

DX事業部

ハンディターミナルをモバイル化へ変革

NX事業部

RFIDや、AsCodeなど新しい認識技術を世に

IT事業部

受託開発に加え、当社パッケージを発表予定

AI事業部

顔認識に加え、AIカメラ等の販売も予定

LM事業部

リニアモーターを事業化

DX事業部

ハンディターミナルを
モバイル化へ変革

それは、スマートフォン端末のスペックが
業務端末などに比べて優秀だからです。

今までは、業務にあわせて
機器を選定していた



スマホによる
現場DX
対投資効果を最大にする

でも、スマートフォンへ集約する方効率化



それだけのスペックを
もっているのだから

スマホ性能がPoint!

CPU | コスト | OS | 保守 | 稼働性 | 流通性

ベンチマークテスト（処理性能）などの
確認を推奨します。 **ハンディよりスマホがおすすめ!**



これらの動きは、スマホ化された大手企業が立証

国内、海外、大企業様で
続々導入して
いただいています。

製 造

トヨタ自動車



川崎重工業



流 通

青山商事



カーポートマルゼン



東急ハンズ



中部薬品



パロー



大手リテールショップ



物 流

アスクル



ノーリツ



ほくやく



ルビー



大手運送業



スマートデバイス
導入実績数
No.1

医療・介護

大阪警察病院



岸和田徳洲会病院



近畿大学病院



セコメディック病院



鳥取大学医学部附属病院



三重大学医学部附属病院



前後前



海 外

消防車メーカー（欧州）



警察署（アメリカ）



牧場（アメリカ）



NASA（アメリカ）



その他

大塚商会



エスシー・マシーナリ



長谷工コーポレーション



ユカ



AsReader. DOCK-Type

スマートフォン装着型バーコードリーダー



バーコードの読み取り頻度が
高い方にお勧め

AsReader. CAMERA-Type

スマートフォンのカメラを利用したバーコードリーダー

IOS

Android



バーコードの読み取りが
メインではない方にお勧め

賞味期限 管理

スマホカメラのOCR による賞味期限管理で検品精度が劇的改善！

「期限徹底管理」「作業工数削減」「フードロス削減」

を実現します！



バーコードと
賞味期限を1台で読取り

- ① スマホのカメラを利用し、賞味期限をOCRで読取ります
- ② AIを活用することで、さまざまな表示形式に対応できます
- ③ 万が一、賞味期限切れの商品場合は、画面にアラートが表示されます
- ④ 循環式方式で従来の作業時間の8割が削減可能
- ⑤ スマホでの作業なので、直感的、簡易に作業できます。



文字読取 (OCR)

- ① スマートフォンのカメラで撮影した文字・数字をテキスト化します
- ② 独自の解析技術を用い、高速かつ正確に認識できます。
- ③ 在庫管理や出荷時の許容切れ確認など、ミスのない作業をサポートします！



例えばこんな活用も！

マイナンバーカード



伝票番号



製造番号



前捌き

前捌き端末でレジの行列を解消します！

- ① レジ待ちのお客様の商品を読み取り、POSへ連携できます
- ② POSではQRコードを読むだけですので、大幅に時間が短縮されます
- ③ 繁忙期や込み合う時間帯など、状況に応じて対応することができます



読み取った内容を
1つのQRコードへ



“耳を塞がない”ヘッドセット「AsReader PTT」を発表

耳を塞がない“Air伝導”方式により、快適で自然な通話環境を実現しました。

現場の「聞こえる」を変える

——耳を塞がないヘッドセット「AsReader PTT」登場。

耳を塞がずに使用できるヘッドセット「AsReader PTT（ピー・ティー・ティー）」を新たに発表しました。

「AsReader PTT」は、作業中でも周囲の音を自然に聞き取ることができる、“耳を塞がない”設計が特長です。販売現場でのお客様の声、製造現場での機械の異常音、医療機関での患者の小さな異変など、作業者の聴覚を損なうことなく、確実なコミュニケーションを支援します。



“Air伝導”による新しい音伝達方式を採用。

一般的な「骨伝導」ヘッドセットは、骨を振動させて音を伝えるため、音楽などの再生には適していますが、通話のように声域が広い音声では“くすぐったい感覚”や“こもった音質”が生じることがありました。

「AsReader PTT」はこの振動を完全に排し、空気振動による自然な音の伝達を実現。耳を塞がず、かつ振動による不快感もない、まったく新しい通話体験を提供します。

「AsReader PTT」は2025年11月より提供を開始いたします。

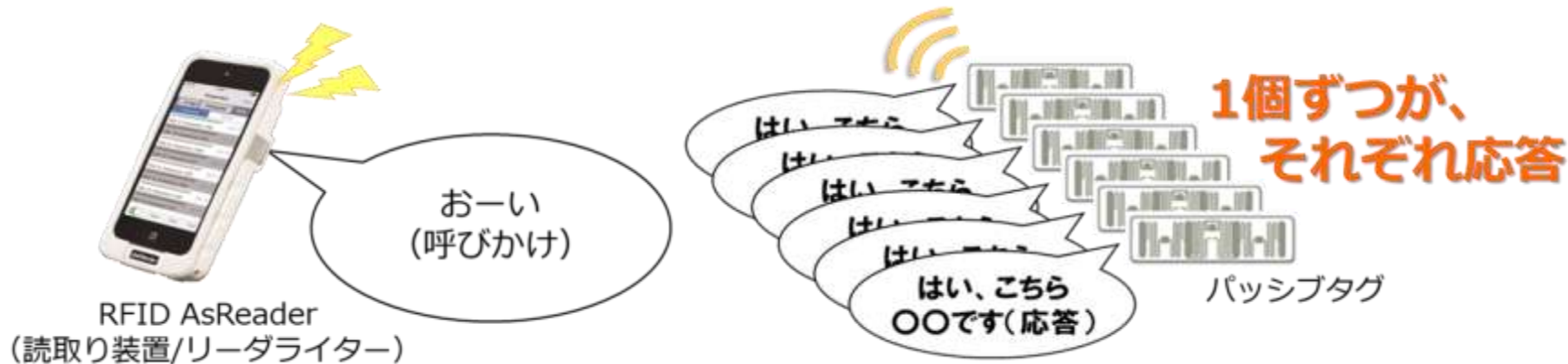
NX事業部

RFIDや、AsCodeなど
新しい認識技術を世に

RFIDとは... 「Radio Frequency Identification」 の略

電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム

電波が届く範囲であれば、タグが遠くにあって読み取りが可能

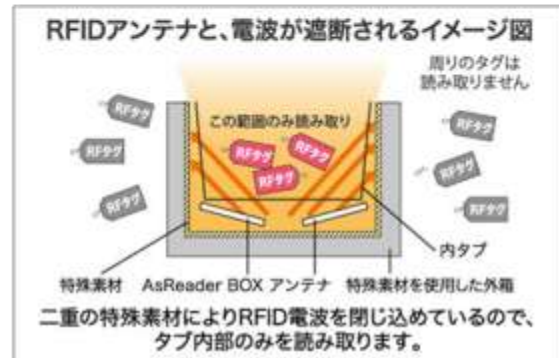


あらゆるモノにRFタグがつけられることで、
モノまたは人の様々な状況変化を的確に捉えることが可能となります。

RFIDは、モノの位置・保管状態・移動の履歴など、
これまでは取得に手間がかかったり、見えなかったものを
可視化する役割を担っています。



買い物かごをポンと置くだけで、RFタグを一瞬でスキャン!



(注2) 譲渡したもの以外に、当社保有の特許は、日本だけでなくアメリカや中国で権利化されています²⁰⁾



簡単!

正確!

確実!

コンパクト

AsKeyCubeで鍵の管理はおまかせ!

As Key Cube

鍵持出返却管理システム



店舗など鍵束管理・
鍵の紛失防止



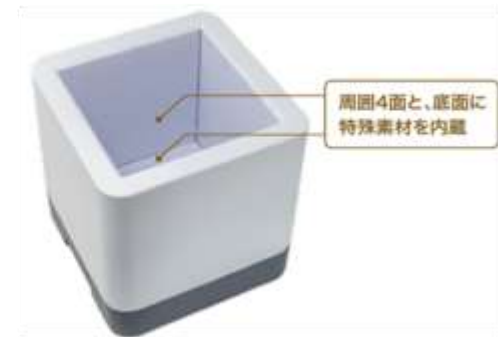
オフィス・
資料室の鍵管理



社用車の
持出管理



貴重品等の
保管棚管理



顔認証と組み合わせることで不正持出、成りすましを防ぐ。

鍵の利用状況の管理が可能。
履歴を追うことも可能。

電波を吸収する特殊素材を内蔵したAsReader Cube使用で、一括読み取り可能。

■日本の特許

- ・ NIPに譲渡した特許 → 独占的使用権として契約！
- ・ アスタリスクで保有 → 取得済み&申請中

■中国の特許

- ・ アスタリスクで保有 → 実用新案として取得済

■アメリカの特許

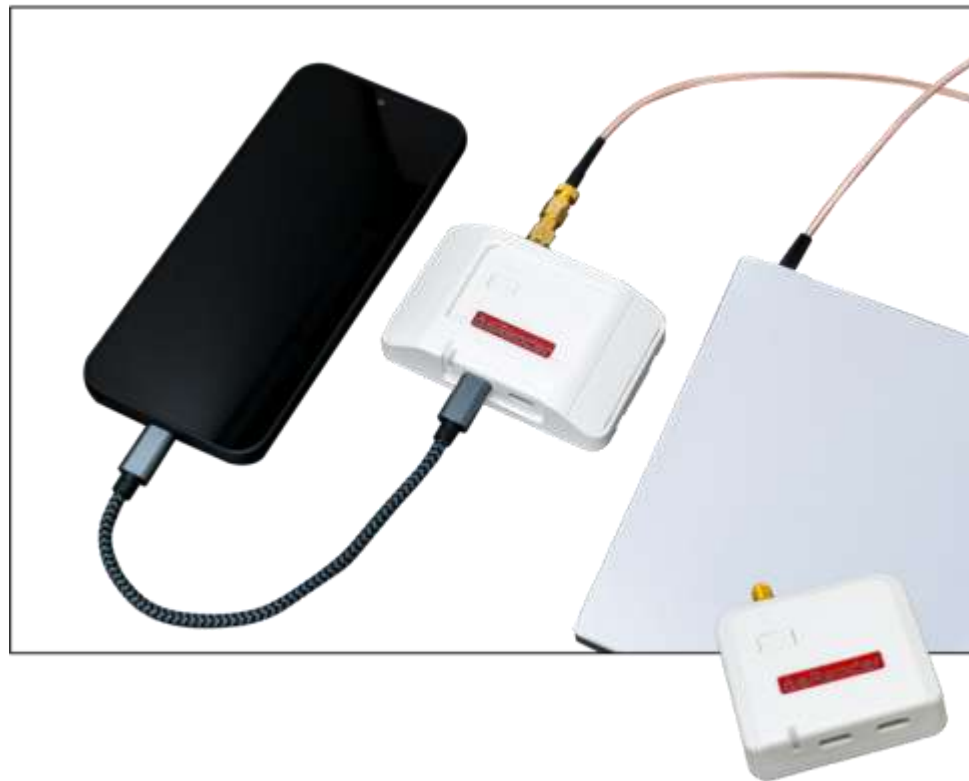
- ・ アスタリスクで保有 → 特許が認可！

■ヨーロッパの特許

- ・ アスタリスクで保有 → 現在申請中

ASR-P37U

・UHF帯RFID



ASR-P35U

・UHF帯RFID



ASR-P252B 円偏波

- ・1次元バーコード
- ・2次元コード
- ・UHF帯RFID



持ちやすさ、最高



**新
三次元
コード**

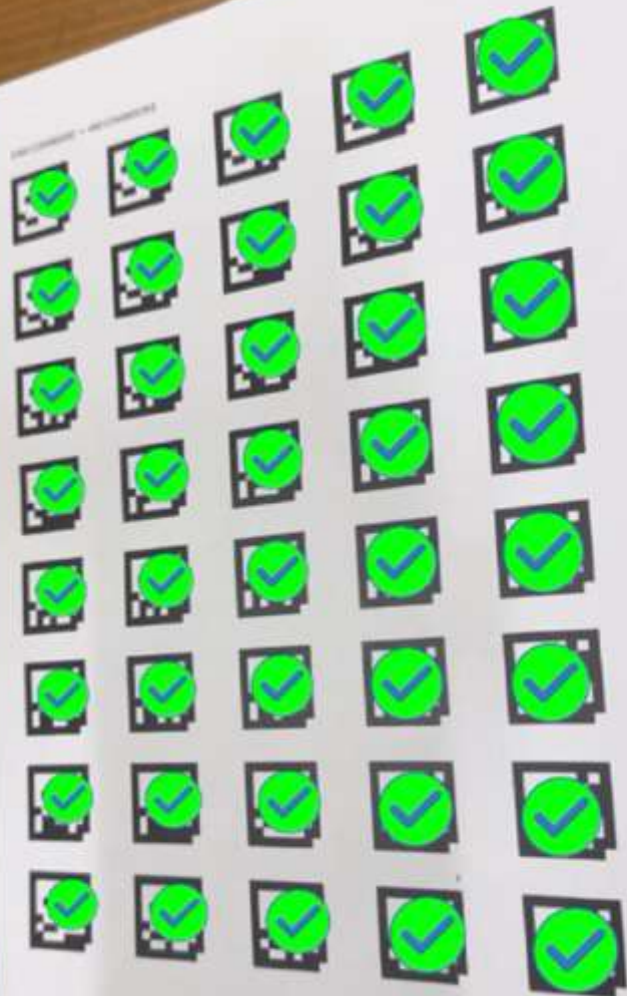
AsCode

大量一括読み

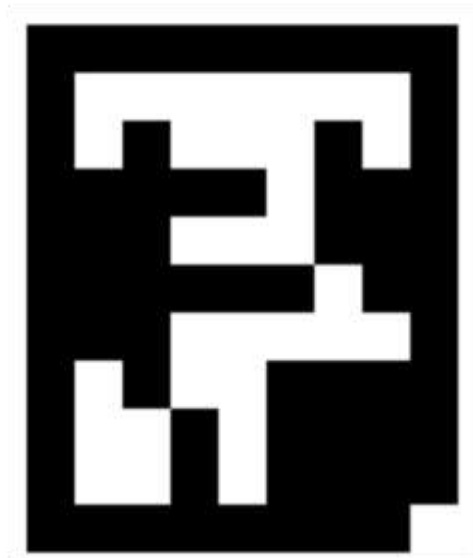
スマートフォンのカメラで

「AsCode」は、現代の情報管理および流通に革命をもたらし、効率的なデータ管理を実現する新しい二次元コードです。

Handwritten text, likely a title or header, is visible at the top of the page.



同じ13桁のコードを、AsCodeにするのと、QRコード(※)にするのとでの対比



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

これだけの画像の「粗さ」で表現できるから、
スマートフォンのカメラで読みやすい
(カメラが認識しやすいコード)

- ・ 医療器具の個体管理
- ・ 図書館での本探し
- ・ 入退場管理
- ・ 物流での利用
- ・ スーパーマーケットなどでも



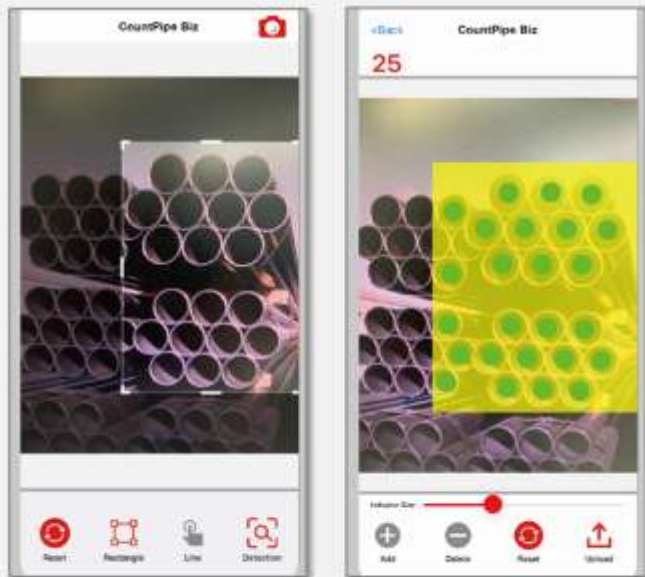
IT事業部

受託開発に加え

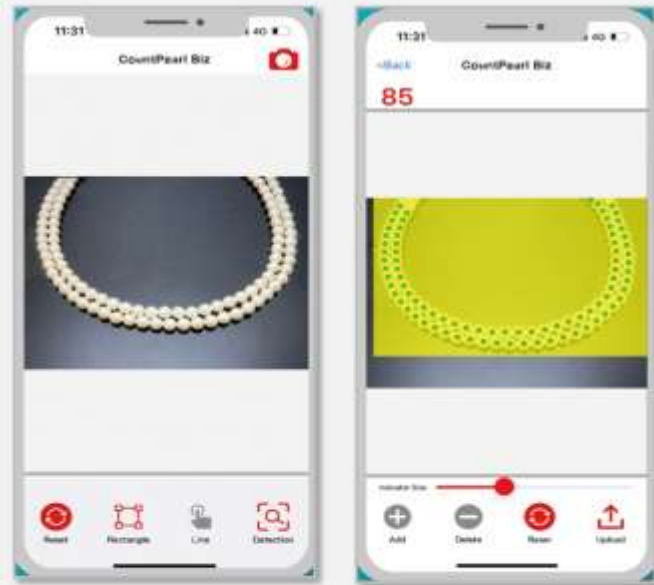
当社パッケージを発表予定

数量カウント

- ① 今まで目視でカウントしていたものが、瞬時にカウントできます
- ② 範囲を指定でき、必要に応じて結果を修正することも可能です
- ③ 対象物にあわせたアプリの開発も可能です



パイプカウント



パールカウント

画像認識アプリで、ヒューマンエラーが0(ゼロ)に!



課題と背景

生産されたパイプは、決められた数に結束して納品している。結束前の生産中に、抜き取り検査等でパイプを抜くことがある。
これまではそれを現場作業者が計数器で手入力して、最終本数を目視で数えていた。

AsReader ソリューション

弊社クラウド型画像認識計数アプリ「CountPipe」を導入。写真を撮るだけで、一瞬でパイプの数を正確に把握。

効果

アプリ導入後は数え間違いというヒューマンエラーがゼロに。また、計数にかかっていた作業時間がほぼなくなり、業務効率の改善に繋がっている。

【店舗現場での革新的な利用シーン】

本アプリは、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなど、多数の商品を取り扱う店舗での賞味期限・消費期限管理に適しています。

- 従来：1つ1つバーコードを読み取る、あるいは目視確認 → 時間と人手がかかる
- 本アプリ：数十点の商品をスマートフォンで一気に読み取り、瞬時に期限状態を色やマークで可視化

これにより、バックヤード業務の効率化、廃棄ロスの削減、スタッフ負担の軽減が実現します。



【アプリの特長】

「StmA（エスティマ）」は、Simple Threshold Markers AsCodeの意味からつけたネーミングであり、期限の閾値をシンプルで直感的な印で把握できるアプリです。

- 期限状況を直感的に表示：期限切れ、もうすぐ期限が切れる、もう少し余裕があるがちょっと注意、などのステータスを決めて、それぞれ、色（黄・赤など）＋マーク（丸、レ点、バツ、三角など）で設定が可能
- 利用シーンの多様性：食品、駐輪場、物流資材、各種サービス利用券などさまざまなところでの利用が可能
- 低コストで導入可能：他システムとの連携なしでも利用できるため、AsCodeを貼ることだけで月額1,000円ですぐに利用が可能



10月末にリリース予定

その他

当社パッケージ商品についても現在開発中であり
今期（20期）中に発表を目指しています。

AI事業部

顔認識に加え

AIカメラ等の販売も予定

顔認証端末を開発し発売開始

顔認証は、端末のログインから入退場管理、
決裁、会員証とそのポイント管理まで、
幅広い用途で活躍しています。
安心の「未来」を「今」体感してください。
新しい時代のスタンダードを、顔認証が切り拓きます。



手軽に使えて高セキュリティ、
顔認証が提供する次世代のスタンダード





接続方法



給電: ACアダプタ (DC12V 2A) ・PoE / ネットワーク: WiFi・有線

電磁錠・電子錠など

自動ドアや電磁錠・電子錠との連携が可能です。
リレー装置により接点信号にて解錠します。

- 電気錠、電磁錠、自動ドアなど、接点渡しでの連携が可能
- 解錠データは、他システム連携なども可能(例: 勤怠管理など)
- Android OS搭載により、鍵の施解錠だけでなく様々な業務への転用も可能
- 鍵の施解錠だけでなく、POSなどの他サービスとの連携も可能(特許取得済)
- メール等でのお知らせ機能付き

スマートロック・セサミと標準連携



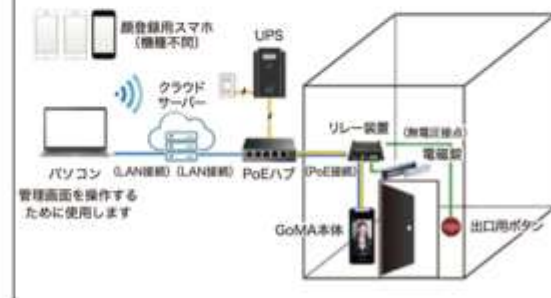
顔登録は、自分のスマホからでき、認証装置は玄関ドアや壁に簡単に取り付けられます。物理的な鍵を使わないので、両手が塞がっていても鍵が取り出せなかったり、鍵をなくすこともありません。スマートロック SESAMEと顔認証で、既存のドアがスマートドアに生まれ変わります。

オプションのオープンセンサー、CANDY HOUSE Remoteなど、様々なオプションと組み合わせ自由。

室内用ボタン Remote



全体構成図



さらに、入退室の管理には

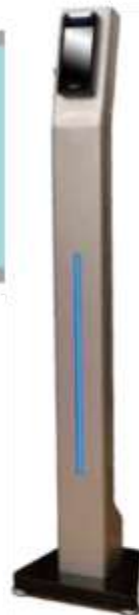
ゲートがなくても
不審者を逃さない

顔認証と人追跡により、ゲートがなくても警告ランプが知らせて、不審者を見逃しません。

顔認証 (GoMA) + 人物追跡 + 警報システム (警告ランプ)

鍵としてだけでなく、ビルや通用口の
入退場管理としての利用！

人物追跡カメラとの連動により
セキュリティの向上を実現



人追跡技術と認証技術を融合することにより、
入室した人についていく人（いわゆる共連れ）を
防止させます

革新的で新しい見せ方／より効果的な商品アピールと顧客体験の向上

①新しい商品・人の見せ方

これまでにない方法で商品や人を展示することにより、話題性を喚起し、来店機会の増加を図ります。

これにより、売上拡大が期待されます。

②立体感のある展示

立体的な表現が可能となり、お客様はあたかも目の前で実物を見ているかのような感覚を味わえます。

③透明ショーケースとのコラボレーション

透明ショーケースを活用することで、実物と映像を組み合わせた展示が可能。より魅力的な商品アピールを実現。



AIカメラについても、引き続き研究開発中であり、
今後に製品化を目指したいと考えています

**世界最小に
挑戦!**



**発熱を
最小限に!**



LM事業部

リニアモーターを事業化

リニアモーター技術を活用した搬送システム HAKOBU



商品名：AsReader HAKOBU (アズリーダーハコブ)

商品の概要：リニアモーターを備えたパネル状の「基盤部」と荷物などの物品を搬送するための「トレイ部」とで構成されます。コントローラは、基盤部に配置したそれぞれのコイルを制御することによりトレイ部を稼働させます。

基盤部の特徴：リニアモーターを組み込んだ基盤部は、臨機応変に組み立てて設置が可能なように「タイル状」として提供を予定。搬送するためのトレイは電源などをもたないため充電の必要性なども全くなく縦横に加え回転運動をすることが特徴であり、かつ複数を同時コントロールが可能です。

20期は、次の事業部に再編成して事業拡大を目指します

DX事業部

ハンディターミナルをモバイル化へ変革

NX事業部

RFIDや、AsCodeなど新しい認識技術を世に

IT事業部

受託開発に加え、当社パッケージを発表予定

AI事業部

顔認識に加え、AIカメラ等の販売も予定

LM事業部

リニアモーターを事業化

第二部：第19期（2025年8月期）業績報告

(1) エグゼクティブサマリー

2025年8月期 通期連結業績

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	純資産	自己資本比率
1,666 百万円	-125 百万円	-128 百万円	-182 百万円	1,729 百万円	62.1 %
(前年同期比 +5.6%) (前年同期 +99 百万円)	(前年同期 +48 百万円)	(前年同期 +207 百万円)	(前期末 1,539 百万円)	(前期末 57.9%)	

■AsReader事業の売上高は、日本国内 1,245百万円（前年同期比+6.5%）、米国 132百万円（前年同期比+22.8%）。前年同期比で増収となりました。

■システムインテグレーション事業の売上高は、269百万円（前年同期比2.4%減）となり、前年同期比で減収となりました。

■その結果、前年同期比では日本国内・米国の両市場において増収・増益を達成。日本国内は黒字化を達成し業績は回復傾向にあるものの、売上高1,666百万円（前年同期比5.6%増）、営業損失125百万円（前年同期224百万円の営業損失）の結果となりました。

■2025年8月期に新株予約権の権利行使があり、354百万円の払い込みをいただいております。
この結果、前期末比で純資産が189百万円増加、自己資本比率が4.2%改善。

主要な数値情報：地域別売上高

日本	アメリカ	その他
1,526 百万円	132 百万円	7 百万円
(前年同期比 +5.6%) (前年同期 +22.8%)	(前年同期比 -70.5%)	

■日本市場では前年同期比+5.6%の増収、米国市場では前年同期比+22.8%の増収を達成し、両市場とも増収・増益を実現しました。

■2025年8月期においては、日本および米国の両市場で前年同期比の増収増益を達成しました。特に日本市場では黒字転換を果たし、着実な回復基調を示しています。

また、米子会社であるAsReader, Inc.においては、大型案件の受注に向け商談を進めております。引き続き、米国市場における売上・利益のさらなる拡大を目指し、営業活動を推進してまいります。

2025年4月14日発表 2025年8月期連結業績予想数値との差異

売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,200 百万円	50 百万円	15 百万円
(業績予想比 -24.3%) (業績予想比 -175 百万円)	(業績予想比 -197 百万円)	

■2025年8月期における業績は、売上高1,666百万円、営業損失125百万円となりました。

■米子会社における販売活動の遅れや先行投資の継続が影響した一方で、国内市場においては堅調な需要が継続しており、新製品の販売や月額課金型サービスの拡販も進展しております。

■既存顧客との取引拡大やコスト管理の徹底を通じて収益改善を図り、通期業績目標の達成に向けて全社を挙げて取り組んでまいります。

（2）第19期（2025年8月期）連結業績

2025年8月期 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期連結業績	1,666 百万円	-125 百万円	-128 百万円	-182 百万円
前年同期実績	1,578 百万円	-224 百万円	-176 百万円	-389 百万円
	(前年同期比 +5.6%)	(前年同期から +99 百万円)	(前年同期から +48 百万円)	(前年同期から +207 百万円)

■前年同期実績では増収増益

AsReader事業の売上高は、日本国内 1,245百万円（前年同期比+6.5%）、米国 132百万円（前年同期比+22.8%）。前年同期比で増収となりました。

システムインテグレーション事業の売上高は、269百万円（前年同期比2.4%減）となり、前年同期比で減収となりました。

その結果、前年同期比では日本国内・米国の両市場において増収・増益を達成。日本国内は黒字化を達成し業績は回復傾向にあるものの、売上高1,666百万円（前年同期比5.6%増）、営業損失125百万円（前年同期224百万円の営業損失）の結果となりました。

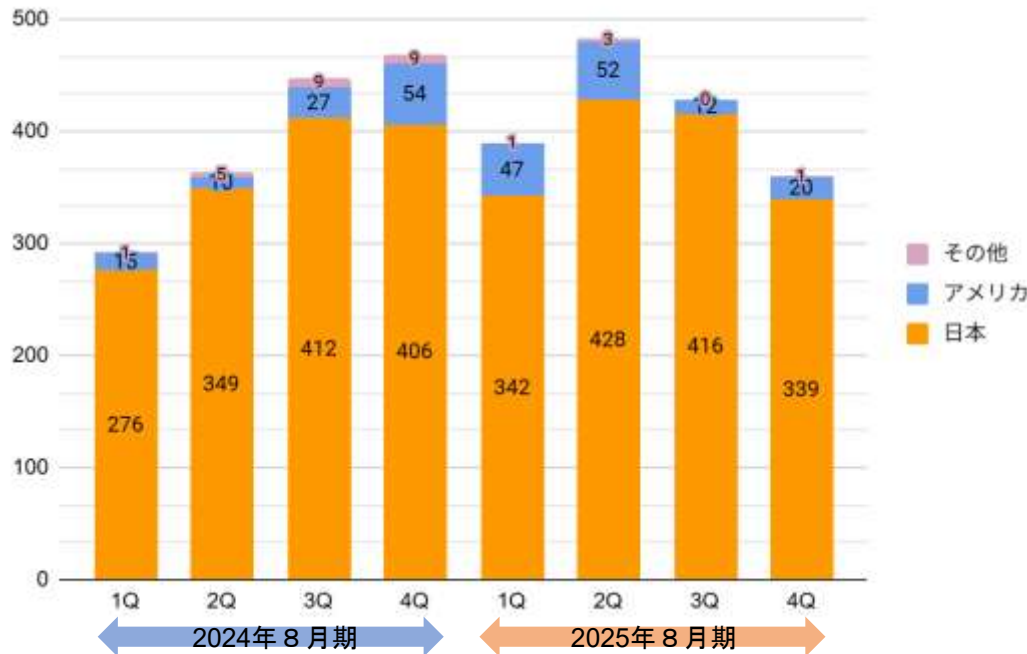
■ 地域別の業績推移 ー売上高ー

■2025年8月期通期で1,666百万円（前年同期比5.6%増収）

日本 1,526百万円（前年同期比 5.6%増収）

アメリカ 132百万円（前年同期比 22.8%増収）

その他 7百万円（前年同期比 70.5%減収）



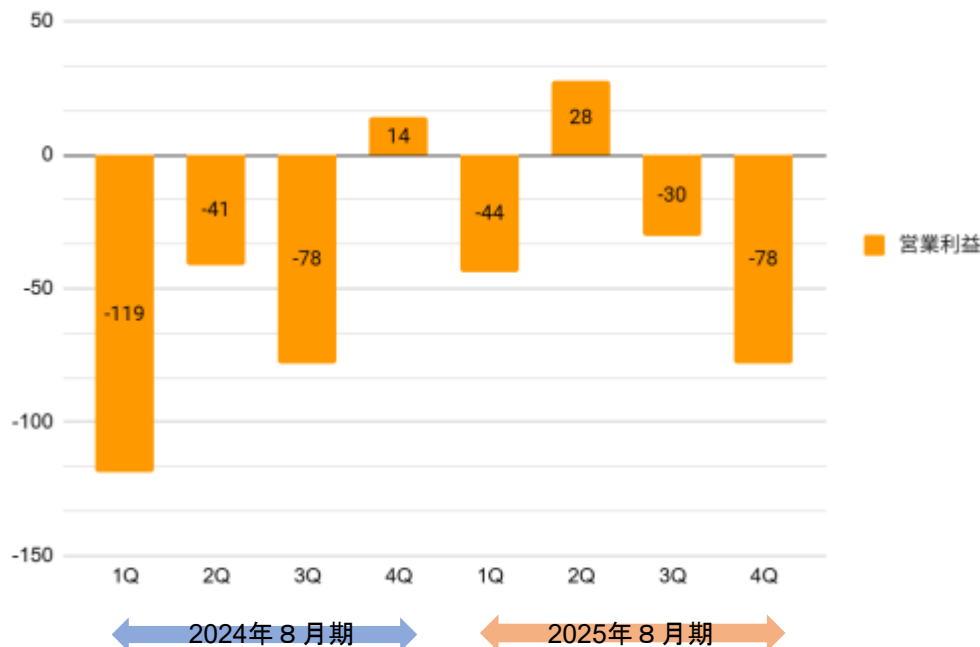
■2025年8月期においては、日本および米国の両市場で前年同期比の増収を達成しました。特に日本市場では黒字転換を果たし、着実な回復基調を示しています。

また、米国子会社であるAsReader, Inc.においては、大型案件の受注に向け商談を進めております。引き続き、米国市場における売上・利益のさらなる拡大を目指し、営業活動を推進してまいります。

業績推移 ー営業利益ー

■2025年8月期で▲125百万円（前年同期▲224百万円）

四半期累計期間では営業損失が続いておりますが、2024年8月期第4四半期会計期間と2025年8月期第2四半期会計期間では営業利益を計上。



■売上総利益率

前期が33.8%に対して37.3%と約3.5%の改善。前期と比較して商品評価損の計上が少なかったことが主な改善要因となります。

■販管費

前期と比較して11百万円の減少となりました。

■総括

2025年8月期で営業損失125百万円（前期は224百万円の営業損失）と99百万円の改善となりました。

セグメント別の業績推移 ー売上高・セグメント利益ー

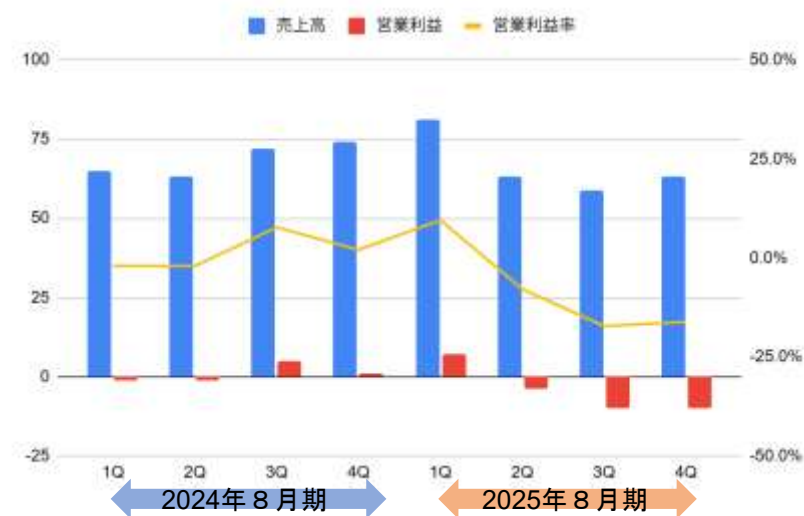
AsReader事業

AsReader事業は、国内向けでは、自動販売機業界、製造業界、輸送業界、卸売・小売業界、医療業界への販売が順調に進捗しました。一方で海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。販売が計画より遅延している案件が発生しております。また、顔認証技術をはじめとした新商品開発に関する費用、顔認証レジの実証店舗運営に関する費用は継続して発生しております。以上により、前年同期に比べ売上高は増加、セグメント利益を確保する結果となりました。



システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は、物流業界向け、小売業界向け、医療業界向け、不動産業界向けなどのシステム開発の納入、製造業界、小売業界、食品業界の受注がありましたが、一部案件において進捗の遅れの発生、継続している不採算案件に関して追加で受注損失引当金を計上したため、セグメント利益が前年同期に対し、大幅に減少し、セグメント損失を計上する結果となりました。



（３）第19期（2025年8月期）単体業績

2025年8月期 単体業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期単体業績	1,615 百万円	15 百万円	-198 百万円	-210 百万円
前年同期実績	1,560 百万円	-30 百万円	-221 百万円	-396 百万円
	(前年同期比 +3.6%)	(前年同期から +46 百万円)	(前年同期から +22 百万円)	(前年同期から +185 百万円)

■前年同期実績では増収増益

売上高につきましては、一部の案件が当期中に納品に至らなかったものの、着実に積み上げた案件により前年同期比で増収を確保いたしました。この結果、売上高1,615百万円（前年同期比+3.6%）と前年同期比で増収となりました。

営業利益については、販売費及び一般管理費を前年同期比でほぼ同水準に抑制した結果、売上高の増加が効率的に利益へとつながり、営業利益は15百万円（前年同期△30百万円）と黒字化。前年同期比で増収となりました。

経常利益については、債務超過の連結子会社に対する貸付金への貸倒引当金221百万円の計上によりマイナスとなっておりますが、営業利益は改善できており、本業の収益力は前年同期比で改善を示しております。

親会社株主に帰属する当期純利益については、税務上の損金不算入となる損失を多く計上したことで法人税等の負担が生じたものの、基礎的な収益力の拡大を背景に前年同期比では増益を実現いたしました。

（４）第20期（2026年8月期）業績予想

3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	907	3.6	△34	—	△38	—	△35	—	△4.52
通 期	2,291	37.5	117	—	110	—	65	—	8.38

■米国大型案件の下期寄与により通期で増収増益を見込む

DX (IoTを活用した自動化・業務効率化) の流れが加速する中、当社の主力製品「AsReader」は、専用端末をスマートフォンへ置き換えることで業務の柔軟性と生産性を高めるソリューションです。小売・物流・医療など幅広い分野で採用が進んでおり、今後も市場シェア拡大を見込んでおります。

また、次期主力商品として「AsCode」および「リニア技術」の研究開発を推進しております。「AsCode」はトレーサビリティや在庫管理の高度化を実現する新ソリューションであり、「リニア技術」は物流・搬送分野における自動化を支える新たな成長ドライバーとして期待しています。

第2四半期(累計) 期間は、米国子会社における大型案件の納品時期が下半期にずれ込む影響により、一時的に赤字を見込んでおります。ただし、当該案件の売上計上に加え、新規案件の寄与によって下半期は増収増益を見込んでおり、既存製品の拡販と次世代技術の事業化を通じて、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

(5) その他トピックス

EVO FUND様の新株予約権権利行使による資金調達

EVO FUND様に対して2024年9月17日に発行した新株予約権の一部について、2025年8月期中に第5回新株予約権640,000株の権利行使・払込が行われました。

この権利行使・払込により、資本金が176百万円、資本準備金が176百万円増加しております。

2025年8月31日時点における新株予約権の未行使残は以下のとおりです。

	割当先	個数	株式の種類と数		1株当たり 行使価格	発行決議日	権利行使期限
第5回新株予約権	トリプルウィン	1,600個	普通株式	160,000株	550円	2024年8月30日	2027年9月17日
第6回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	2,000個	普通株式	200,000株	700円		
第7回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	1,000個	普通株式	100,000株	1,000円		

※ 第1回～第4回新株予約権は役員及び従業員を割当先としたストック・オプションになります。

※ 第5回新株予約権 EVO FUND様割当分は全て権利行使済。

※ 2025年8月31日時点の状況になります。

第三部：その他企業情報

（１）直近のリリース情報

2025年 7 月15日 ～ 2025年10月15日 発表分

■ 国際モダンホスピタルショー2025に出展

2025年7月16日（水）～18日（金）の3日間、東京ビッグサイト西展示棟で開催された「国際モダンホスピタルショー2025」に出展しました。

『健康・医療・福祉の新たなステージ～いのち輝く安心社会 2025～』をテーマに、病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器、製品、システム、サービスなどを幅広く展示し、最新情報の発信および情報交流の場を提供することにより、健康福祉社会の発展に寄与することを目的とした展示会です。



■ AsReaderの日（8月5日）記念プレゼント発送のお知らせ

200名近くの方にご応募いただき、厳正な抽選の下、10名の当選者を決定しました。
AsReaderのステッカーを添えて、プレゼントはご記入された住所へ向けにお送りしました。
この度は、たくさんのご応募、並びに温かい励ましのメッセージもありがとうございました。
皆様のご期待に添えるよう、AsReaderは今後ますます進化し続けます。



■ 【新製品情報】 スマートフォン用カバーケース型UHF帯 RFIDリーダー「ASR-M30S」を2025年10月より発売

～壊れたRFIDタグを容易に発見できる新サービス「FIND AsCode」も同時リリース～

スマートフォンに装着して使用するカバーケース型UHF帯RFIDリーダー「ASR-M30S」を2025年10月より出荷開始することを発表いたしました。あわせて、同リーダーと専用アプリを用いて、破損したRFIDタグを効率的に発見する新ソリューション「FIND AsCode（ファインド アズコード）」の提供を開始します。



【導入事例】株式会社ラウンドワンジャパン様

これまで、社内のコミュニケーションツールとして活用してきたスマートフォンに、当社のAsCameraを組み込み、景品管理に活用されています。

iPhoneのカメラを使ってバーコードを高速に読み取るAsCameraを導入することにより、毎月の棚卸しに掛かっていた時間を、全店舗合計1000時間節約できた事例です。



■ 【新製品情報】 置いて繋いで、すぐに使える！

Desktopタイプのアンテナ一体型RFIDリーダー「AsReader ASR-P351N」を発表！

アスタリスクではPOSレジと連携させることにより、セルフレジとしてユーザーが複数の商品を入れた買い物カゴを置くだけで、一瞬で会計までたどり着く「AsReaderリーディングタブ」を既に発売しています。しかし、このシステムはある程度スペースに余裕がある店舗にしか設置できないため、もっとコンパクトに運用したい、あるいは、レジ以外の使い方として簡単にRFIDタグを一気に読みたいというユーザーニーズにお応えするため、当製品を開発しました。



■ “大量一気に読み” AsCodeで期限管理を革新する新アプリを発表 ～ コンビニ・スーパーから物流まで利用可能に ～

「StmA（エスティマ）」は、Simple Threshold Markers AsCodeの意味からつけたネーミングであり、期限の閾値をシンプルで直感的な印で把握できるアプリです。

- ・ 期限状況を直感的に表示：期限切れ、もうすぐ期限が切れる、もう少し余裕があるがちょっと注意、などのステータスを決めて、それぞれ、色（黄・赤など）＋マーク（丸、レ点、バツ、三角など）で設定が可能
- ・ 利用シーンの多様性：食品、駐輪場、物流資材、各種サービス利用券などさまざまなところでの利用が可能
- ・ 低コストで導入可能：他システムとの連携なしでも利用できるのも、AsCodeを貼ることだけで、月額1,000円ですぐに利用が可能



■ 【導入事例】 大阪医科薬科大学病院様 RFIDで実現する“Super Smart Hospital”

地域の基幹病院である大阪医科薬科大学病院様は、“Super Smart Hospital”構想のもと、ICTとDXによる医療の効率化・安全化を推進されています。

その取り組みの一環として、入院患者様のリストバンドにRFIDタグを導入し、電子カルテと連携した「患者・医療従事者・薬剤」の三点認証を実現。バーコードとRFIDの双方に対応するAsReaderコンボタイプを採用いただきました。

非接触での認証が可能になったことで、夜間の投薬時でも患者様の睡眠を妨げず、看護師の負担やストレスも大幅に軽減。医療安全と業務効率の両立を実現し、同院が目指す“温かいスマート医療”の実現に大きく前進しました。



■ 【製品発表】 Bluetooth 接続の“耳を塞がない”ヘッドセット「AsReader PTT」を発表 “Air 伝導”方式により、快適で自然な通話環境を実現

「AsReader PTT」は、作業中でも周囲の音を自然に聞き取ることができる、“耳を塞がない”設計が特長です。販売現場でのお客様の声、製造現場での機械の異常音、医療機関での患者の小さな異変など、作業者の聴覚を損なうことなく、確実なコミュニケーションを支援します。

なお、2025 年11 月より提供を開始いたします。



（２）直近の展示会出展予定

【国内】

■リテールテックJAPAN

東京ビッグサイト 東展示棟

2026年3月3日(火)～6日(金)

<https://messe.nikkei.co.jp/rt/>

■第7回関西物流展

インテックス大阪

2026年4月8日(水)～10日(金)

<https://www.kansai-logix.com/>

【海外】

■NRF 2026 Retail's Big Show (New York)

2026年1月11日(日)～13日(火)

<https://nrfbigshow.nrf.com/>

■MODEX2026 (Atlanta)

2026年4月13日(月)～16日(木)

<https://www.modexshow.com/>

■RTS26 (London)

2026年4月22日(水)～23日(木)

<https://www.retailtechnologyshow.com/>

■RFID Journal LIVE! (Las Vegas)

2026年5月19日(火)～21日(木)

<https://rfidjournallive.com/>

【お問い合わせに当たってのお願いとご注意事項】

- お問い合わせ内容によってはお答えできない場合もございます。
- 下記①～④に該当するご質問は、IRからの回答を差し控えておりますので、あらかじめご了承ください。
 - ①金融商品取引法第166条「重要事実」に該当する可能性のあるご質問
(株価に関する対策、配当・株主還元に関する内容など)
 - ②非公開情報に関するご質問 (業績動向、将来予測・見通しなど)
 - ③株式市場の値動きに関するご質問 (株価動向、テクニカル分析、売買手口など)
※当社株価の上下変動や当社が非開示の将来的な株価対策などに関し、個別にお答えすることは差し控えております。
 - ④誹謗中傷に該当するメッセージ (いわれのない悪口、根拠のない名誉棄損など)
- 当社からご回答としてお送りするメール (電話での回答含む) は、株主・投資家の皆様からお寄せいただいたお問い合わせなどに回答する目的で、個人宛てにお答えするものです。
その内容の一部または全部を転載、二次利用することはご遠慮ください (SNSや、株式関連サイトの掲示板への書き込みなどもご遠慮ください) 。
- 各種アンケート、営業目的 (売り込み目的) のお問い合わせなどにつきましては、お受けできませんのであらかじめご了承ください。

【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I Rに関するご意見・ご質問は、「I Rお問い合わせ」よりお問い合わせください。

【I Rお問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>